関 治／著　ロープアクセス技術協会／編

ロープアクセス技術マニュアル

スタンダード編

Single Rope Techniques

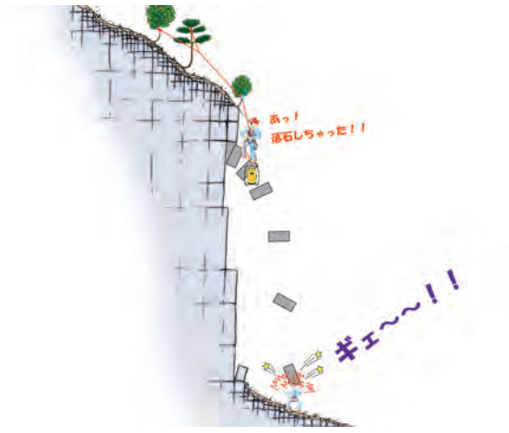
ロープアクセス技術マニュアル スタンダード編 -Single Rope- Techniques-
©2014 関 治·ロープアクセス技術協会

著者より

ロープアクセスの主要な技術であるシングルロープテクニック（Single Rope Techniques）、略してSRTはロープを用いて垂直面または空中を自在に移動する技術である。
ロープテクニック自体は確立されており、正しく実践すれば、安全にロープを昇降することができる。

SRTは1本のロープを使って垂直面・空中を自在に移動する技術。
ロープテクニックは確立されており、正しく実戦すれば安全!

ところがロープを使って昇降する壁面（特に自然の岩壁面）には、不安定化した岩塊や倒木などが多数存在する。
危険を予測し回避する（ロープを扱う技術に高度に熟練する、もしくは下降ルートを見極める、不安定なものはあらかじめ落としておく）ことでリスクを小さくすることはできるが、予測不可能な危険（見落とした浮石、大規模崩壊など）が存在することがあるため、リスクをゼロにすることはできない。
また、垂直な場所での活動となるため、ロープの結び間違いや金具の取り付け間違いなどの些細なミスが簡単に墜落による死亡事故につながりうる。
さらに、自分が落とした落石が、仲間や第三者を死傷させる可能性もある。



そのうえ、使用器具に関して、ウェビング類の酸による腐食や金属部品の微細亀裂など、目視では確認が困難な変状・劣化が発生し破断する可能性がある。
したがって、完全な安全を求める人はロープアクセスを行うべきではない。
本書はシングルロープテクニック技術講習を行うにあたり、講習用のテキストとして作成したものである。
ロープアクセスの習得には熟練者から直接実技指導を受けることが不可欠であり、初心者が本書を読むだけで安易に実践することは極めて危険である。

©2014 関 治・ロープアクセス技術協会

1 落下物（落石）と立ち入り規制

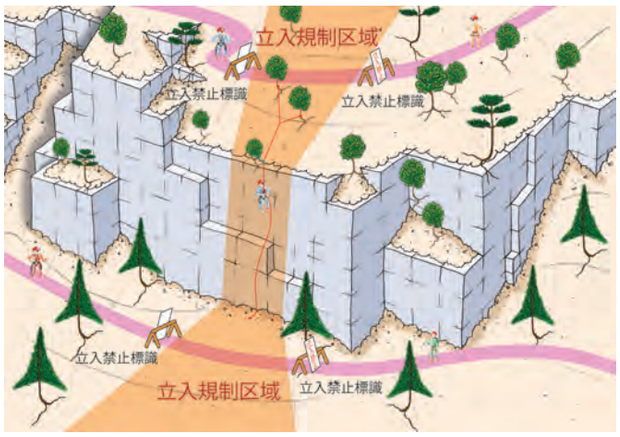
ロープアクセスは垂直な場所で行うため、落下物による事故の可能性が大きい。したがってロープアクセスユーザーが、落下物が当たりうる**上下関係になることは避けねばならない。**
また、第三者がそれらのエリアに進入することを阻止するための**立ち入り禁止表示**を行わなくてはならない。
いかなる場合でも万が一落下物を発生させてしまったら、**即座に大声で「ラク！」**（落石・落下物の意）と発声し周知を行う。
チームとしてロープアクセスを使用する場合は各自が無線を携帯して密に連絡を取ることが望ましい。

原則・進入禁止

- ロープアクセス使用者に落下物が到達する可能性のある上方エリア
- ロープアクセス使用者が発生させた落下物が到達する可能性のある下方のエリア

例外

- 同チームのロープアクセスユーザーが、救助時や複雑なロープ配置時などにやむをえず既に作業中のロープアクセスユーザーおよび要救助者の下方に進入する場合は、大声で自分の進入を周知してから作業エリアに入ること。
- もしあなたが既に作業中のロープアクセスユーザーまたは要救助者の上方に立ち入る場合は作業中のロープアクセスユーザーに通達し、許可を得てから、落下物を発生させないように細心の注意を払って行動しなくてはならない。
- もしあなたがロープアクセス使用者の下方に進入する場合は上方のロープアクセス使用者が落下物を発生した場合の回避行動（体を隠せるくぼみがないか、どちらに走って逃げるのがよいかなど）を確認しておくこと。
- もしあなたがロープアクセス使用中に上方に進入者を許す場合は、進入者が落下物を発生した場合の回避行動（振り子トラバースなど）を確認しておくこと。
- もしあなたがロープアクセス使用中に下方に進入者がある場合は、落下物を発生させないように細心の注意を払って行動しなくてはならない。



上下作業は禁止
落石・落下物発生時には「ラク!」と大声で叫ぶ

©2014 関 治・ロープアクセス技術協会